

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準等の開発（2012年12月1日～2013年1月31日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第256回～第258回）
3. IFRS財団、EFRAGに対するASBJのコメント（2012年12月1日～2013年1月31日）
4. ASBJ委員の選任
5. 理事、代表理事、常務、事務局長の選任
6. その他の委員会の委員長及び委員の選任
7. お知らせ
 - 1) ASBJオープン・セミナーのご案内
 - 2) 刊行物のご案内

≪ご注意≫本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準等の開発（2012年12月1日～2013年1月31日）

- 1) [【ED】企業会計基準公開草案第49号（企業会計基準第21号の改正案）「企業結合に関する会計基準（案）」及び関連する他の会計基準等](#)の公表（2013年1月11日）（コメントの募集は2013年3月15日までとなっています。）

【凡例】

ED：公開草案

Final：会計基準/適用指針等（最終）

2. 企業会計基準委員会の概要（第256回～第258回）

1) [第256回（2012年12月12日開催）](#)

- a. 企業結合（ステップ2）の検討
- b. IFRS財団会計基準アドバイザリー・フォーラム設置提案へのコメント対応について
- c. 基準諮問会議からのテーマ提言への対応について
- d. 専門委員長の交代及び専門委員の選退任

- a. 遡及適用及び適用時期についての検討が行われました。

原則として遡及適用を行うこととしますが、遡及適用を行っていない旨を注記することを前提に、遡及適用を行わないことを認める方向での検討が行われました。

強制適用の時期については、平成27年4月1日からの対応が検討されました。

- b. 11月3日付けでIFRS財団から公表されたアドバイザリー・フォーラム設置提案へのコメントの検討が行われました。

アドバイザリー・フォーラムの役割は、基準設定活動に関連した主要な技術的論

点に関する助言及び見解をIASBに提供することと、各国及び各地域の論点に関するインプットを提供することとされており、コメント募集は、IFRS会計基準設定プロセスにおける各国設定主体の関与の正式化が内容となっています。

- c. 基準諮問会議からの提言を受けて「自己株式を利用した株式給付信託」に関する会計処理及び表示の検討を行うことが改めて確認されました。
- d. 専門委員長の交代と専門委員の選退任が行われました。

2) [第257回（2012年12月25日開催）](#)

- a. EFRAGの開示フレームワーク意見募集へのコメント対応について
- b. 企業会計基準公開草案「企業結合に関する会計基準（案）」及び関連する他の会計基準等の改正案について

【公表議決】

- c. 無形資産に係る会計基準の検討
- d. 金融商品専門委員会の検討状況

- a. EFRAGのディスカッション・ペーパー「開示フレームワーク」に対するコメント案の検討が行われました。

- b. 企業結合に関する会計基準の公開草案の公表の議決が行われました。

公開草案は主に「非支配株主持分の取扱い」、「取得関連費用の取扱い」、「暫定的な会計処理の確定の取扱い」及び「適用時期」を取り上げています。詳細は、公開草案の原文を確認ください。平成25年3月15日までコメントを募集しています。

- c. 「企業結合時における無形資産の識別」（企業結合時において、のれんから無形資産を精緻に識別する必要があるか）及び「個別に取得した仕掛中の研究開発」の論点に係る市場関係者へのリサーチの報告と検討が行われました。

今後、無形資産の識別・評価に係るコストと便益の論点を中心に検討が行われます。

- d. IASB から公表された「分類及び測定：IFRS 第 9 号の限定的修正（IFRS 第 9 号（2010 年）の修正案）」の概要説明と専門委員会での検討状況の説明が行われました。

3) 第 258 回（2013 年 1 月 10 日開催）

- a. EFRAG の開示フレームワーク意見募集へのコメント対応について
- b. 無形資産に係る会計基準の検討
- c. 連結・特別目的会社専門委員会における検討状況

- a. EFRAG のディスカッション・ペーパー「開示フレームワーク」に対するコメント案の検討が行われました。
- b. 米国基準／IFRS に準拠して無形資産を識別・評価することのベネフィットを中心に検討が行われました。

検討においては、「個別の無形資産を識別することにより、従来のようにのれんのみを計上した場合よりも合理的に償却期間を見積もることができる」、「企業の企業結合に係る戦略を読み取ることができ、企業としても説明責任を果たすことができる」等の意見が見られました。

- c. 連結・特別目的会社専門委員会に係る今後の進め方についての検討が行われました。

3. IFRS 財団、EFRAG に対する ASBJ のコメント（2012 年 12 月 1 日～2013 年 1 月 31 日）

- 1) IFRS 財団コメント募集「会計基準アドバイザリー・フォーラム設置の提案」

に対するコメントを提出（2012 年 12 月 17 日）

- 2) EFRAG ディスカッションペーパー「注記に対する開示フレームワークに向けて」に対するコメントを提出（2013 年 1 月 18 日）

4. ASBJ 委員の選任

FASF では、2012 年 12 月 7 日に開催した理事会において、定款第 57 条第 1 項の規定に基づき、柳橋 勝人氏(キヤノン(株) 経理本部 グローバル経理企画統括センター センター所長(当時))を ASBJ 委員(非常勤)として選任することを決議いたしました。(就任日：同年 12 月 7 日)

なお、同年 12 月 6 日付で、都 正二氏が ASBJ 委員を辞任しております。

5. 理事、代表理事、常務、事務局長の選任

FASF では、2012 年 11 月 21 日に開催した評議員会において、理事の選任決議を行いました。

また、同年 12 月 7 日に開催した理事会において、代表理事、常務、事務局長の選任決議を行いました。

○理事の選任

都 正二（前）企業会計基準委員会委員
（常勤）

（就任日：同年 12 月 7 日）

○代表理事、常務、事務局長の選任

都 正二（前）企業会計基準委員会委員
（常勤）

（就任日：同年 12 月 7 日）

なお、同年12月6日付で、高橋 秀夫氏が理事・代表理事・常務・事務局長を辞任しております。

6. その他の委員会の委員長及び委員の選任

FASFでは、2012年12月7日に開催した理事会において、定款第65条の2第2項の規定に基づき、その他の委員会の委員長及び委員の選任を決議いたしました。
(※下線付は新任)

<委員推薦・評価委員会>

委員長：大塚 宗春 理事（早稲田大学商学
学術院 教授）

委員：岩熊 博之 理事（(株)東京証券
取引所グループ 取締役兼代表執
行役専務(当時)）

委員：久保田 政一 理事（(一社)日本
経済団体連合会 専務理事）

委員：谷口 進一 理事(新日鐵住金(株)
常任顧問)

委員：山崎 彰三 理事（日本公認会計士
協会 会長）

委員：藤沼 亜起 評議員（日本公認会計
士協会 相談役）

(就任日：同年12月7日)

<適正手続監督委員会>

委員長：北村 敬子 理事（中央大学商学部
教授）

委員：池上 玄 理事（日本公認会計士協
会 副会長）

委員：大場 昭義 理事（東京海上アセット
マネジメント投信(株)代表取締役社長）

委員：久保田 政一 理事（(一社)日本
経済団体連合会 専務理事）

委員：島崎 憲明 理事（住友商事(株)

特別顧問)

委員：西村 義明 評議員（東海ゴム工業
(株)代表取締役社長）

(就任日：同年12月7日)

<業務推進委員会>

委員長：西川 郁生 企業会計基準委員会
委員長

委員：都 正二 公益財団法人財務会計基
準機構 代表理事常務

委員：加藤 厚 企業会計基準委員会副委
員長

委員：新井 武広 企業会計基準委員会副
委員長

(就任日：同年12月7日)

7. お知らせ

1) [ASBJオープン・セミナーのご案内](#)

ASBJ/FASFでは、会員の皆様へ向け
て、内外の会計基準の動向等をタイムリ
ーにお知らせするため、ASBJ オープ
ン・セミナーを開催しております。

2013年第1回目のセミナーとして、
以下の日程で開催いたします(参加をご
希望の方は、ASBJ ホームページから登
録をお願いします)。

日時	場所	時間
2013年2月 21日(木)	よみうりホール (東京)	13:00~15:45
2013年2月 22日(金)	TKP 天神シテ イセンター(福 岡)	13:30~16:15
2013年2月 25日(月)	TKP 大阪梅田 ビジネスセンタ ー(大阪)	13:30~16:15

2013年2月 26日(火)	ダイテックサカ エ(名古屋)	13:30~16:15
2013年3月 8日(金)	札幌証券取引 所(札幌)	13:30~16:15

2) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 39 号
(2012年12月20日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：IFRS 財団アジア・オセアニア
オフィスの開設
 - ・開設にあたって
 - ・開設までの経緯
 - ・記念式典の模様
 - ・記念式典スピーチ
 - ・アジア・オセアニアオフィス ディ
レクターの挨拶
- ✓ Accounting Square：“これからの保
険会計を見据えた生命保険業界の取
組み” …松尾憲治 (社)生命保険協会
会長
- ✓ CFO Letter：“不動産業からみた会計
基準のあるべき姿” …浅井裕史 三井
不動産(株)常務取締役常務執行役員
- ✓ Chairman’s Voice：“IASB による各
国会計基準設定主体との関係強化と
ASBJ の対応” …西川郁生 ASBJ 委
員長

- ② 国際財務報告基準 (IFRS)2012
IFRS 財団公認日本語版

IASB が公表した IFRS の全内容を
収録した公式出版物「International
Financial Reporting Standards
2012」の日本語版。新基準である
IFRS 第 10 号「連結財務諸表」、第
11 号「共同支配の取決め」、第 12 号

「他の企業への関与の開示」、第 13
号「公正価値測定」や、改訂 IAS 第
19 号「従業員給付」など、2011 年の
改定内容をフォローして 2012 年 1 月
1 日現在で公表されている基準書等
を掲載している最新版であり、合計
3600 頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳
されています。

2010 年版から、原書の構成変更
に合わせて、強制力のある要求事項 (基
準本文、適用指針) を収録した Part A
と、強制力のない付属文書 (結論の根
拠、適用ガイダンス、設例等) を収録
した Part B との 2 分冊となっていま
す (分売不可)。

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF 会員の皆様は、
季刊会計基準に掲載される記事が[ホ
ームページ\(会員専用サイト\)よりご
覧になることができます](#)。どうぞご利
用ください。

“ASBJ Newsletter” (第 31 号)

2013 年 2 月 20 日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20 階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712